



平成28年
「はたちのつどい」



2016年1月11日
開催ユーベルホール

豊能町
議会
だより
第116号 平成28年1月25日発行

12月議会

第5回定例議会報告	2P
討論	3P
総括・採決結果	4P
総務建設水道常任委員会報告	5P
福祉教育消防常任委員会報告	5P
一般質問	6P
平成27年度町村議会広報研修会報告	12P

第5回定例議会報告

平成27年12月7日～18日

平成27年12月定例議会は、12月7日から18日までの12日間の日程で開催されました。提案された案件は、17件（専決報告1件、専決承認3件、条例制定1件、条例改正3件、補正予算3件、その他5件、議会議案1件）でした。関係案件は、各常任委員会に付託し審査したのち、本会議で採決しました。

専決 報告									
6号報告	和解及び損害賠償の額の決定								
専決 承認									
8号承認	議会議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例改正	被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の一部の規定が施行されることに伴い、条例の改正を行う必要が生じたため条例の一部を改正するものです。	全員賛成 承認						
9号承認	職員の退職手当に関する条例改正		全員賛成 承認						
10号承認	消防団員等公務災害補償条例改正		賛成多数 承認						
条例制定									
49号議案	消防事務の委託に伴う関係条例の整理等に関する条例制定	箕面市に消防事務を委託することに伴い、関係する条例を改正等するものです。	賛成多数 可決						
条例改正									
50号議案	税条例改正	地方税法等の一部を改正する法律による地方税法の改正に伴う町税の猶予手続きの整備、減免の申請期限の緩和、町たばこ税に係る特例措置の見直し、その他の規定の整備および原動付自転車に係る試乗用標識の導入に伴う規定の整備を行うものです。	賛成多数 可決						
51号議案	保育の必要性の認定の基準を定める条例改正	職業能力開発促進法の一部改正に伴い、規定の整備を行うものです。	全員賛成 可決						
52号議案	廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例改正	<p>家庭ごみ 有料化を否決</p> <p>ごみの減量化と資源化の推進、ごみの排出量に応じた負担の公平化および財政負担の軽減を図るため、家庭系廃棄物のうち、可燃ごみと不燃ごみの収集を有料化するものです。</p> <table border="0"> <tr> <td>45リットル指定袋</td> <td>1袋45円</td> </tr> <tr> <td>30 "</td> <td>" 30円</td> </tr> <tr> <td>15 "</td> <td>" 15円</td> </tr> </table>	45リットル指定袋	1袋45円	30 "	" 30円	15 "	" 15円	賛成少数 否決
45リットル指定袋	1袋45円								
30 "	" 30円								
15 "	" 15円								
補正予算									
55号議案	平成27年度一般会計補正予算	52号議案否決のため、修正をしました。 ごみ収集事業関連の補正予算を削除 ・既定の歳入歳出予算の総額に1億8647万7千円を増額し、それぞれ67億7599万3千円とするものです。	修正案 賛成多数 可決 修正部分を除く原案 賛成多数 可決						
56号議案	平成27年度国民健康保険特別会計事業勘定補正予算	既定の歳入歳出予算の総額に3381万円を増額し、それぞれ35億4916万8千円とするものです。	全員賛成 可決						
57号議案	平成27年度介護保険特別会計事業勘定補正予算	既定の歳入歳出予算の総額に4606万1千円を増額し、それぞれ19億5011万8千円とするものです。	全員賛成 可決						

その他			
53号議案	指定管理者の指定について	町立たんぼぼの家の指定管理を社会福祉法人産経新聞厚生事業団に指定するものです。	全員賛成 可決
54号議案	大阪広域水道事業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	四條畷市、太子町、千早赤阪村に係る水道事業の経営に関する事務を追加することおよびこれに伴う大阪広域水道事業団規約の変更に関して、関係市町村と協議するため提案するものです。	全員賛成 可決
58号議案	工事請負契約の一部変更について	吉川支所改修工事及び旧吉川幼稚園解体工事の変更契約の締結について、議決を求めるものです。 変更前 1億1556万円 変更後 1億2025万9080円	賛成多数 可決
59号議案	動産の取得について	消防職員被服等の取得につき、議決を求めるものです。 金額791万3484円	賛成多数 可決
60号議案	動産の取得について	消防現場活動物品等の取得につき、議決を求めるものです。 金額713万160円	賛成多数 可決
議会議案			
9号議案	議会特別委員会設置の件 (議員定数報酬特別委員会)	議会委員会の規定に基づき、特別委員会を設置するものです。 ◎川上 勲 ○井川 佳子 野村 剛志 永谷 幸弘 永並 啓 竹谷 勝 ◎委員長 ○副委員長	全員賛成 可決

家庭ごみ 有料化 反 対 討 論

反対 公明党

今回の家庭ごみ収集の有料化は、可燃ごみ・不燃ごみを対象としたものです。

本町の可燃ごみ・不燃ごみの現状は、以上の減量化が困難なことからこれを抑制する必要があること。また、ごみ排出量と経済的負担を比例させることで、負担感の公平さを確保する必要があるのである。そして、町財政の負担軽減の観点から有料化には賛成です。

しかし、平成27年8月に議会への説明後の対応として、各地域ごとの住民への説明がなされていないことに、瑕疵があったと考えます。審議会の答申を尊重し、パブリックコメントも行ったから、議会では有料化を議決してから住民に説明するというのは、順序が違うということから反対します。

反対 豊鳴クラブ

指定袋を有料化すれば、ごみが減量でき、資源化が推進できるとした提案理由は、認識違いである。町民は、常日頃から分別を心掛けており、紙類をもっと分別しようとしても限りがある。

財政負担の軽減を図るというが、有料化を図るのには、当初1452万4千円の委託料が必要である。また、次年度より収支差し引き1千万円が見込めるとするが、今、毎月4回のペットボトルおよび容器包装プラスチックを収集しているのを、月1〜2回に減らし委託金を削るなど、まだ町行政にも工夫の余地がある。高齢化していく町民に負担を強いる前に、まだ町行政でできることはある。それを町に求め、主婦の代表として、ごみ収集有料化に反対をする。

反対 無所属の会

町長は、家庭ごみの有料化について、ごみの減量と資源化をすれば有料化しない、ということを言明していました。

しかし、平成27年6月になって、突然に前言を翻し、家庭ごみの有料化を議会に説明されました。住民生活に多大な影響を及ぼすごみの有料化は、住民に十分な説明と周知徹底を図ることが行政を預かる長として最低の責務であります。

住民に説明することなく、周知もしないままに一方的に、ごみの有料化を提案することは、議会や住民の感情を無視した暴挙です。町長は、議会を通してから住民に説明をする、このことを力説していますが、民主主義の根幹を知らない思いあがりの考えです。議会に對して到底容認できない考えです。

52号議案

説明会は議会の議決後と考える

ダイオキシンの有名になった豊能町だからこそ、ドリンクや惣菜のはかり売りを実施する等、民間とも協力して、まち全体でゴミが出ない仕組みづくりが重要です。

こうした取り組みは、これまで分別をしつかりしてきた住民が多い豊能町でなければ、実現は困難ですし、行政だけでなく、住民や事業所が一丸となる必要があります。

職員一人一人が、与えられた業務をこなすだけでなく、常に豊能町のPR・活性化・住民との協働を頭にいれて、課題に取り組みることが重要です。将来的な有料化に反対ではありませんが、それまでに住民の理解と協力が得られることを実践し、外部委託も含めた将来構想を示すことも求め、今は、時期尚早ということで、反対します。

財政問題や一人当たりのごみ量の公平性などを理由にしているが、地域によっては収集方式が異なる問題は先送りだ。ごみ分別に協力してきた住民に対し何の説明も行わず、ごみ有料化ありきの条例提案は容認できない。今後、ごみ減量への丁寧な説明を行い、住民の生の声をしっかりと受け止め、協力を求めるべきだ。

第50号議案 条例改正

国が消費税10%への引き上げを平成27年10月から29年4月実施に変更するため「景気条項」を削除し、今後、どれだけ景気が悪くても増税する改正だ。

増税延期を前提に、大企業への減税のための措置が中心となっている。

問 ごみ減量と資源化の推進とある。分別は、かなり進んでいると思うが。

答 いまだに資源として出せるものが含まれており、有料化をすることに、より、分別が図れ、資源化もできます。

問 負担軽減措置のルール作りは。

答 ある一定の要綱等を定め、ボランティアをしていただいている方・子ども・高齢者・障がい者の方のおむつについては、制度的に考えていく必要があるかと思えます。

問 町長は今年に入り、有料化に減量は関係ない、財政面から有料化を進めると方針を突如変更されましたが。

答 まずは、おわび申し上げます。その修正については同じメディア、広報「とよの」の中でさせていただきます。

問 説明会を議会の前にされない理由は。

答 通常、条例改正の場合には議会にご説明し、必要とあればパブリックコメントを実施して、そこで住民の意見を伺い議会に上程します。お認めいただければスムーズに有料化が推進できるように、丁寧に住民の方には説明をさし上げるといった手法を今回は取らせていただきます。

問 施行期日が平成28年8月1日ということですか。

答 袋の製作期間が大体5カ月かかるといふこと、住民の皆様にも最初の周知をするために説明をしないとイケない期間もあり、この議会で可決いただいで8月1日施行がぎりぎりのところで設定をしました。

12月定例議会における採決結果

(○:賛成 ×:反対)

件名	議決結果	野村 剛志	菅野英美子	永谷 幸弘	橋本 謙司	井川 佳子	高橋 充徳	岩城 重義	小寺 正人	永並 啓	竹谷 勝	福岡 邦彬	高尾 靖子	西岡 義克	川上 勲
専決処分事項の承認を求める件(消防団員等公務災害補償条例改正)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
消防事務の委託に伴う関係条例の整理等に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
町税条例改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例改正	否決	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○
平成27年度一般会計補正予算修正案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×
平成27年度一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
工事請負契約の一部変更について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
動産の取得について(消防職員被服等購入事業)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
動産の取得について(現場活動物品等購入事業)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

※議長(岩城 重義)は、職責により、採決に参加していない。
 ※全員賛成の件名については紙面の都合上、省略している。

総務建設水道常任委員会報告

12月10日開会 委員全員出席

消防事務の委託に伴う関係条例の整理等に関する条例制定

問 豊能町出身の消防職員が昇給時に、不利益を被ることはないのか。

答 そのようなことがないよう、協議してまいりました。今後も協議をしていく予定です。

問 本町の消防職員が箕面市消防職員になることに関して、どのように準備を進めてきたのか。

答 詳細にわたり十分説明し、希望調査も実施しました。箕面市との人事交流も行ってきました。

問 消防に関する経費の支払いはどうするのか。

答 4半期毎に支払い、精算については翌年度となります。

問 平成28年4月以降、本町の消防団の事務体制はどうなるのか。

答 現在協議中ですが、3名体制で検討しています。(賛成多数 可決)

豊能町税条例改正

問 原動機付自転車に係る試乗用標識の手数料は、なぜ300円なのか。

答 最低手数料の300円が適当であると判断しました。

(賛成多数 可決)

廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例改正

問 減量化が目標量まで進まなかった理由はどこにあると考えているのか。

答 減量化への周知不足も要因の一つと考えますが、当初の想定以上にごみが減りませんでした。

問 ごみが減らないのは、最初から分かっていたこととで、簡単に減量できると考えていたのが間違いではないのか。

答 ごみの減量化は進めて行けると考えていましたが、現状は横ばいか微増であり、ごみの有料化

を実施したいと考えました。

問 住民への説明会をなぜ行わなかったのか。まず住民の理解を得る努力をするのが当然ではないのか。町長が説明責任を果たしていないのではないか。

答 住民に対しては、パブリックコメントを実施しました。議決後に住民に対し広く説明・周知を考えています。

(賛成少数 否決)



大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に關する協議について

(全員賛成 可決)

一般会計補正予算(関係部分のみ、但し廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例改正部分を除く)

(賛成多数 可決)

福祉教育消防常任委員会報告

12月11日開会 委員全員出席

保育の必要性の認定の基準を定める条例改正

(全員賛成 可決)

指定管理者の指定について

問 応札が複数あり評価できれば異論はないが。

答 募集要項では広く門戸を開いています。認知されていると認識していますが、応募にいたらなかった点は何か、今後の検討といたします。

問 指定管理は民営化のひとつの手法。NPOを育てるといふ町の方針をはっきりさせた方がよいのでは。

答 この施設は、障害者福祉法に基づく小規模通

所授産施設です。一定の法をクリアする組織であるため、社会福祉法人が中心となった委託先となりました。今後、検討いたします。

問 利用されている方の意見は反映されているか。

答 指定に当たって、利用者へのアンケート、満足度調査を行いました。

問 選定委員会と検討委員会に重複している職員がいる。

答 あまり適切とは言えません。今後、検討いたします。

(全員賛成 可決)



一般会計補正予算(関係部分のみ)

問 保育所および認定子ども園の給食調理業務委託事業について、この事業はこれまでは委託していなかったのか。

答 これまでは直営でした。これで平成28年度から保幼小、全ての給食調理が業務委託となります。

(全員賛成 可決)

国民健康保険特別会計事業勘定補正予算

(全員賛成 可決)

介護保険特別会計事業勘定補正予算

(全員賛成 可決)

一般質問

12月8日～9日

■掲載原稿は質問した議員の責任において作成されています。

町政の諸問題を問う



しみの有料化には丁寧な説明を

新風会

すがの えみこ

有料化の住民への説明がない

問 8月31日の全員協議会で「家庭ごみ収集の有料化（可燃ごみ・不燃ごみ）方針案」が示されました。10月にはパブリックコメントが実施されました。有料化をすればごみは一時的に減ると思いますが、減量化への広報周知徹底は充分なされませんでしたか。環境特集号を発行されていますか。

答 平成14年7月から26年9月まで22回発行しています。27年度はまだ発行しておりません。

問 有料化しようというこの大事な時期に、環境特集号を発行して、なぜ有料化するのかを伝えたいのですか。

答 12月議会で可決していただいたら、住民への周知ということで発行する予定です。

ステーション方式の収集はそのままに

問 ステーション方式のところは、粗大ごみを有料化する時に各戸収集となりました。今回の有料化には、道幅が狭く自宅前へは車が入れないことから現状のままのことですが、新光風台地区は道幅が広いです。各戸収集にしないのですか。

また、そのほかの旧村地区には、ごみ袋の割引はされないのですか。
答 ステーション方式のところの各戸収集は、人員・車両に多額の費用がかかります。財政再建に逆行しているのでやりません。また、地区によって袋の金額を変えることは考えておりません。



収集の公平性は

高齢者等の安全確保は

地域力で

公明党
なが谷 幸弘

高齢者の安全確保に たんぼぼメールの活用を

問 これまでも認知症の人が徘徊などで行方不明にならないための対策と、介護家族に対する効果的な支援策として「とよのたんぼぼメール」の有効活用を提案してきたが、現在の進捗状況は。

答 現在、豊能町・能勢町認知症高齢者等SOSネットワーク事業実施要綱案を取りまとめ、平成28年度の運用を目指しております。その運用の状況を見まして、必ずや「たんぼぼメール」の活用方法も進めてまいります。

認知症簡易チェック システムの導入を

問 町のホームページに「認知症簡易チェックシステム」を導入すれば、チェックシートで気軽に簡易チェックができ、認

知症の早期発見により相談窓口につなげることが、治療で進行を遅らせることもできる。

また、認知症への予備知識を周知するなど、町民への認知症の啓発にもつながることから、認知症への正しい認識や理解を深めていくためにも大変有効なツールであると考えますが、本町において

も早急に導入すべきでないか。

答 チェックシートをホームページに掲載し、地域包括支援センターなどの窓口にも置くことも考えてまいります。一方で、進める際に医師会の協力や物忘れ外来の専門医が町内にいないことから、そういう方とも相談しながら進めてまいります。

たんぼぼメールに登録しよう!!

Q とよのたんぼぼメールとは？

A 「とよのたんぼぼメール」は、豊能町が提供する安心な暮らしのための一環として、子どもや高齢者の安全確保を目的としたサービスです。あらかじめ登録しておくと、緊急時には関係機関へ自動的に連絡がとれます。また、関係機関との連携により、より迅速に対応が期待されます。

登録するメリット

- 子どもや高齢者の安全確保
 - 子どもや高齢者の安全確保、事件などから守るために緊急に連絡がとれる必要がある場合
 - 不審者情報
 - 自然災害等情報（子どもへの被害があると考えられるもの）
 - その他子どもや高齢者の安全確保
- 地域内での緊急時の安全確保に協力する機会
 - 各種防災情報（車上ねらい、空き巣、振り込み詐欺、選付金詐欺など）
 - その他緊急情報（花火やスモッグ注意など）

登録方法

- 携帯電話からの登録
 - （@town.toyonaka.jp）からのメールが受け取れるよう設定を行ってください。
 - そのQRコードを読み取り専用メールアドレス tanbobo@town.toyonaka.jp へ空メールを送信
 - ⇒「登録完了」メールが届く
 - ⇒「登録完了」メールに示されたURLにアクセス
 - ⇒ 画面の指示に従って登録
 - ⇒ 登録完了

※メールの配信が滞りかねない場合があります。登録を行ってください。

お問い合わせ先

- 取組情報に関しては・・・生活福祉部 住民生活課 072-739-3420
- 子どもの安全確保に関しては・・・教育委員会 教育支援課 072-739-3427
- システムに関しては・・・総務部 秘書広報課 072-739-3413

豊能町

たんぼぼメールの活用で高齢者を守ろう

町の衰退を止める 総合戦略であることを願う

公明党
高橋 あつり

空家バンク制度の 見直しをすべき

問 町内の空家のデータデータベース化についてどこまで進んでいるのか。

答 一軒一軒のデータベース化をして関係各課で共有して取り組んでいきます。

問 空家バンク制度について宅建業界との協働で有効にすべきだと提案してきたが、今後の取り組みは考えているのか。

答 民間でも空家バンクに取り組んでおられることから、今後、町全域に広めて行くべきと考えています。

問 生産年齢といわれる方達に移住してもらうための取り組みはするののか。

答 まちひとしごと創生総合戦略に盛り込み、国の交付金を活用していきます。



この屋敷をなんと見る

問 若者の転出を防ぐ取り組みとして、一家に3台必要な家庭に対して軽自動車購入のための経費の補助があっても良いと思うが。

答 今は考えはないが、今後検討していきます。

いち早い災害情報伝達を

問 警戒避難態勢の整備で警報サイレンを検討するとなっているが、設置

の考えは。

答 町として防災行政無線が有効なのか、検討を進めています。

問 設置のための交付金の活用は考えているのか。

答 山間部の町にはどのような方法が良いか、それには交付金を活用して、できれば28年度予算でと考えています。

人と緑が輝くまちにするには

豊鳴クラブ
井川 佳子

町の資源の活かし方

問 町の山の木々も木材として出荷できるようになってきている。町が取りまとめ、住宅業界に売り込む算段をされては。

答 木材の活用については、森林保護の観点からも重要ですが、今のところ有効な手段がありません。

光風台駅前エスカレーター

問 現在の進捗状況は。

答 12月7日更新の実設計の契約ができました。

問 完成の予定はいつか。

答 平成29年度になると考えています。

病児保育・病後児保育について

問 若い人が仕事をもち、子育てをする先進的な支援の取り組みが必要と思うが、いかがか。



平成29年度更新完成予定

答 教委の「子ども・子育て事業計画」では、今後の検討課題としています。

問 例えば国保診療所の2階で、医師管理のもと看護師、保育士を配置してすすめるお考えは。

答 国保診療所は、週2回午前開診しており、東地区に医療を確保する観点からすすめているのがやっと、その課題はかな

小中学校の統廃合

り遠い課題になります。

問 中学校の統合は考えないのか。子どもが育つ環境として、ある程度の規模は必要と考えるが。

答 小中一貫教育等充実検討委員会で、同意見が出ていますが、バス通学のデメリットもあり、今後の課題としていきます。

プレミアム商品券は

消費拡大につながったか

無所属の会
福岡 くによし

問 プレミアム商品券の発行事業は国からの交付予算は3207万5000円、事業費の内訳は。

答 2000万円はプレミアム用の費用です。

その外に商品券の印刷代243万円、広告宣伝料90万円、アンケート経費20万円、換金経費259万円、販売経費4万円、アルバイト等の費用105万円、直接経費として80万円、一般管理費が358万円です。

問 9月13日の発売当日、ユーベルホールではたくさん

さんの住民がお並びになりました。その中で住民が倒れ、救急車が出動したことは御存じだと思います。その位人気があったのですが、住民には2000万円分しか還元されていません。販売は商工会に委託されたとのことですが、1200万円

近くが販売手数料等の経費になっていきます。住民に還元する方策として考えればもう少しいろいろな手立てがあったのではないかと。消費拡大に繋げるのであれば、追加施策として第2第3の矢を打つべきではないのか。例えば近隣の川西市は、追加の消費拡大施策を年末に実施していますが。

答 プレミアム商品券の実施事業は、商工会に委託するという形で実施しました。その中で、今回は2000万円分しかプレミアム券が出せなかったということ。例えばもう100万円200万円出せたらんじゃないかという案は当然考えられましたが、今回の事業については考えませんでした。



プレミアム商品券 即日発売

職員の情熱で 夢はるまはつくりを

イノベーションとよの
橋本 謙司

建物だけではなく真の
小中一貫教育の充実を

問 小中一貫教育等充実検討委員会において、議事録を見る限りでは、施設面に着目した議論が多いように感じるが、教育長が示された、5年・10年先の教育の仕組み・環境・内容をどのようにするか。議論はされているのか。

答 保護者からは、当初は施設面に関するご意見を多くいただいていたが、具体的なイメージをお示しした後は、仕組みや内容についても議論いただいています。

問 小中一貫教育について、5年後を目処とお聴きしている。施設整備となると時間はかかるが、カリキュラム的なものは早々に対応できると感じている。今後の具体的なスケジュール感は。



建物とともに教育内容の充実も

答 平成28年度末までに小中一貫教育等充実検討委員会からいただいた意見等をまとめ、次年度以降、小中一貫教育のビジョンをお示しし、5・6年先に形になればと考えています。1・2年後でもできるものは取組んでまいります。

新鮮でわかりやすい 情報発信を

問 ホームページはリニューアルしたが、SNSや動画の採用等、工夫がみられない。また、審議会や委員会の議事録の公表が遅いのではないか。

答 今後ともコンテンツの充実には努めてまいります。議事録は、できる範囲で迅速に対応します。

人命を守ることは行政の基本

イノベーションとよの
えなみ けい

問 子どもを犯罪から守るために現在行っている安全対策は。

答 町としてはあまりできていません。集団登校は取り入れています。下校時については、心配な部分もあります。しかし、PTA・自治会等の協力が不可欠な状態になっています。

たんぼぼメールは 子どもには届かない

問 子どもが犯罪に巻き込まれるのは下校時です。通学時に巻き込まれるケースはありません。学校から離れ、一人になるときに狙われるのです。

不審者がいた場合、携帯を持っていない保護者は、たんぼぼメールで不審者情報が送られます。しかし、携帯を持っていない子どもには情報は伝わりません。瞬時に子ども達に情報を伝える手段が何もないのです。

消極的な対応で 子どもの命は守れない

答 たんぼぼメールで情報を配信する場合は、不

段が何もありません。人命を守ることは行政の基本ですので、様々な情報を子ども達や住民のみなさんに伝える緊急放送システムの導入はできないでしょうか。

審者とされる人物の真意の判断が難しいため、警察に確認する等、慎重を期しています。そのため、たんぼぼメールで配信している情報を瞬時に流すことは、難しいと思います。しかし、非常事態には有効だと思います。行政としても検討しているところです。



何かあってからでは遅い

転入促進政策を

緑豊クラブ
竹谷 勝

問 吉川中学校を核に、施設一体型の小中一貫校構想を主張しています。教育委員会の考えは。

答 小中一貫教育等充実検討委員会を開き、今後の教育の在り方について、保護者のご意見をいただいています。教育委員会として子どもが減少する中で教育をより充実させるため課題をご検討願っています。

その形として、東西に現在の中学校区を残すという一つのモデルを出しています。

英語教育の充実を

問 小学校からの英語教育の必要性が求められています。国もその方向を示しています。

答 本町として先行して取り組み、教育の町をアピールしてはどうか。

学習指導要領がもう

少ししたら変わります。

小学校の高学年で英語が教科になります。外国語の指導について小さなところからどのようにしていくのかも、保幼小中一貫教育という観点で十分考える必要があります。

子育て施策を

問 保育所・認定こども園等の入所待機児童もな

く、幼稚園においても3歳児から受け入れており、子育て環境に恵まれています。転入促進につながる施策が必要では。

答 待機児童がなく、優れた環境にあります。教育・子育て全般につきまして創生総合戦略で若者が住みやすい町と、選んで頂けることを中心に据えて取り組んでいきます。



東ときわ台小 登校風景 一步一步前進

総合戦略は一億総懺悔

緑豊クラブ
西岡 義克

問 一億総活躍社会に向け、箕面市・能勢町は、すでにKPI（重要業績評価指標）で総合戦略・人口ビジョンを作成した。

答 豊能町の対応はKPIどころか美辞麗句を網羅した骨子のみ。町の合計特殊出生率の自己分析もなく、市町村レベルは、全国ワースト3、町レベルは全国ワースト1の最悪な状況。危機感が全くない。交付金獲得へ向けて数値目標設定は可能か。

地獄絵は避けたい

答 準備は他の市町村に遅れています。KPIを含めた総合戦略案・人口ビジョン案を今月の審議会に諮り、厳しい状況下、悪戦苦闘の中、戦略決定し、豊能町の地獄絵を見ない様に頑張ります。

インフラ整備が肝心

問 交通インフラに関しては、東のバス、西の電車。バスは一応出来ているが、バスは未整備。東西バスは、インフラの典型で整備が急務。前回、リレー便に関しては行政も認識したようだが、如何か。

答 リレー便は今年度中に会議を開き、見直す点があれば見直します。



地獄絵は書けるが、総合戦略は画けない

真の教育環境の推進を

問 平常時、学校の国旗掲揚による、国への愛着心の涵養、小中一貫教育の中での道徳教育の推進は。

答 特に、道徳的価値を適切に教えてきたかは疑問であり、国旗・道徳教育、教員の指導力等々を小中一貫教育検討委員会の中で検討します。

防災力・医療の向上で 安心と言える町に

日本共産党
高尾 靖子

**防災機能強化で住民に
確実な情報伝達を**

問 地域防災の課題は災害時の避難で、住民を完全に誘導できる対策が求められている。高齢化により、自主防災組織対策は人材確保が困難な状況で、町職員の削減等、今後、住民への的確な情報伝達が重要である。災害時、携帯メール・パソコン・テレビ情報等は、ライブラインの問題により情報が閉ざされる。

現在、災害時の避難行動要支援者登録は650人。自助・共助も公助としての備えがあつてこそ、住民の生命・財産が守れる。立ち遅れている防災機能強化へ、補助金を求め防災行政無線等のデジタル化を図るべきだ。

**何が適切か検討し
早急に対応**

答 本町にとって何が一番適切かを検討し、交付金の活用で対応してまいります。

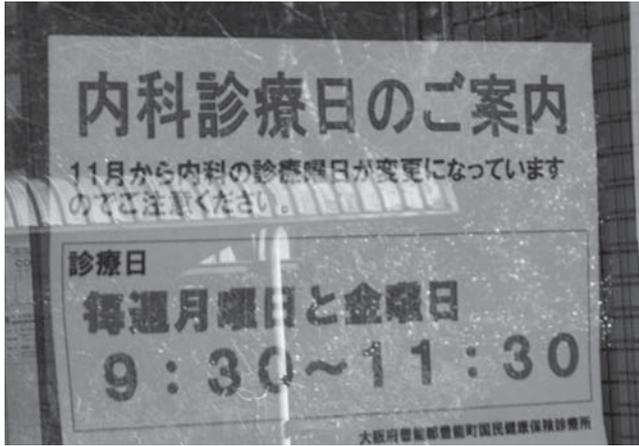
国保診療所を恒久的に

問 東地域唯一の医療機関である。安心して暮らせる恒久的な診療体制を。

5月の広報で示した診療所の目標は、民営委託です。民営化で運営をお任せする方向ですが、現在協議中であり確定的な答弁はできません。

今後 民営委託を目指す

答 今年度中は週2回、箕面病院の協力により、医師の派遣業務の委託契約をしています。



恒久的な診療を

公設民営という手法で 町に流動化をおこそう

大阪維新の会
小寺 正人

私立の高等学校を誘致

問 就職や結婚によって20代・30代の人口が流出している。これに歯止めをかけられない。公設民営の私立の高等学校をここに誘致する。中学生や高校生を持つ30代・40代・50代の人たちが豊能町に引っ越してくることによ

り人口の流動化が起ころうすれば不動産も流動化して、不動産価格も下げ止まる効果が期待できる。

豊能町の隣に16万7000人の人口を持つ川西市、3万3000人の猪名川町、1万1000人の能勢町、2万2000人の豊能町で、合計23万人になる。この地域に私立の高等学校がないので、十分に誘致できるのではないかと考えて元中教審の副会長に相談に行った。

保護者 年 収	国・大阪府からの支援金			保護者負担
	国 支援金	府 補助金	支援金 合 計	授業料 (58万円)
910万円以上	0	0	0	580,000
910万円未満	118,800	0	118,800	461,200
800万円未満	118,800	261,200	380,000	200,000
590万円未満	178,200	401,800	580,000	0
350万円未満	237,600	342,400	580,000	0
250万円未満	297,000	283,000	580,000	0

府の私立高校等授業料支援補助金制度

先生のご意見は、豊能町が全面的にバックアップする。情熱を持って泥にまみれてもやる人物が確保できるならば、可能ではないのご意見であった。

特色ある私立の高等学校を誘致することは、町の活性化に必ず役立つものと確信しているが。

答 一つの方法として完

全な土地や校舎の無償貸与、無償譲渡というやり方があります。この場合には、法人に施設管理から運営まで全てを任せる方法になります。

用地が確保できる場合には、町内に高校があることは魅力的なことです。検討に値するものと思えます。



平成28年消防出初式(東能勢中学校)

インターネット放映



豊能町議会では、定例会ごとにインターネットをとおして、リアルタイムで一般質問を配信しています。

今回は、3月議会を予定しています。

一般会議のお知らせ

町政の諸課題に柔軟に対処するため、全般にわたって議員および町民が自由に情報および意見を交換する一般会議を、必要に応じて設置いたします。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(個人ではない団体からの申し出に限りません。)



平成27年度町村議会広報研修会報告

【月日】

10月20・21日

【会場】

シェーンバツハ・サポー

(東京都永田町)

【参加者】

野村剛志・橋本謙司

【内容・要旨】

①議会広報紙「伝える広報」から「伝わる広報」へ

■なぜ文章がわかりづらくなるのか？

■わかりやすく書くテクニック

■伝わる文書の書き方

②思わず手にとる「読みたくなる」議会だよりを目指して

③「優良議会広報クリニック」

■大山町議会だよりの

■川西町議会だよりの

【感想】

広報は、一方的な情報発信、宣伝・広告ではなく「関係づくり」であり、双方向性のあるコミュニケーションツールが「議

会だよりの」であることを再認識できた良い機会でした。また、広報とともに公聴の必要性も強く感じました。豊能町議会においても「伝わる広報」と「公聴」をどのように工夫していくか広報特別委員会でも議論し、改善していければと思います。また、大山町議会や川西町議会の事例を参考に、住民の皆さんにわかりやすい、興味を持っていただける広報紙づくりに心がけてまいります。



編集後記

今年の冬は、とても暖かいですね。12月議会も特に、家庭系ごみの有料化に関する条例改正の件について、大変熱くなりました。

この件について、総務建設水道常任委員会において、十分な審議時間がとられ、また慎重な審議がなされました。

そして、その後の本会議では、各会派から「反対討論」が行われ、「条例改正の件」は否決されました。

質疑の大半が、この内容に多くの時間を費やしたことを、ご報告させていただきます。

広報特別委員会

委員長 永谷 幸弘
副委員長 野村 剛志
委員 菅野英美子
橋本 謙司
井川 佳子
竹谷 勝

この議会だよりは再生紙を使用しています。

大阪府豊能町 議会だよりの

第116号 平成28年1月25日

この広報誌は、議員6名で延べ5日間編集作業を行い、8,800部作成1部当たりの単価は15.3円、配達に11.8円かかっています。